

# 情報処理科

コンピュータに関する知識や技術を将来のキャリアへ生かしたい人、情報処理の高度な資格を取得したい人は、ぜひチャレンジしてみませんか？

## 新たなる「情報の創造」をしてみませんか？

現在のIT社会ではコンピュータを利用することは当然で、さらに便利な技術を利用するために、幅広い知識と高い技術を持った人材が必要とされています。情報処理科では、プログラムの作成、インターネットを活用した情報収集や発信方法を学び、将来、ITプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。

### システム開発類型

情報システムの開発に必要な専門的な知識・技術を習得し、将来システムエンジニア、プログラマー等として活躍できる人材を育成します。

### システム利用類型

将来、職場での情報化の推進者として活躍できる人材、また、デザインを手がける創造力豊かな人材を育成します。

### 情報ビジネス類型

情報処理に関する幅広い知識・技術を習得し、企業の業務に必要なビジネス文書作成や表計算などを利用して情報を活用できる人材を育成します。

## iPhoneアプリ開発講座



iPhone アプリを開発している企業と連携し、授業で iPhone や iPad 上で動作するアプリを作成しています。完成したアプリは、Apple 社の審査を経て AppStore から全世界に向けて公開しています。資格取得で得た知識を基に、プログラミングの基礎を学び、アプリを作成する実力を付ける授業です。

## 卒業生の声

情報処理科卒  
株式会社電算システム  
システムサービス事業部  
山崎 悦輝



圧倒され、自分がこれから進んでいく道に期待と不安が入り交じっていました。しかし、高校で情報処理の知識を身につけたお陰で、思っていた以上にはやく仕事になじむことができました。また、資格は自身の能力を簡単に、かつ明確に伝えるアピールポイントになります。社会人となり、高校三年間で国家資格を目指し、努力し続けてよかったと改めて感じます。

現在は、プログラマーとしてWebアプリケーション基幹システムの保守を行っています。入社当初は、「学生」と「社会人」の世界の違いに

# 国際コミュニケーション科

「英語で外国の人たちとコミュニケーションをとりたい！」そんな願いを叶えてくれるのが、国際コミュニケーション科です。

## 国際感覚とビジネス能力を身に付けて、国際社会へはばたこう！

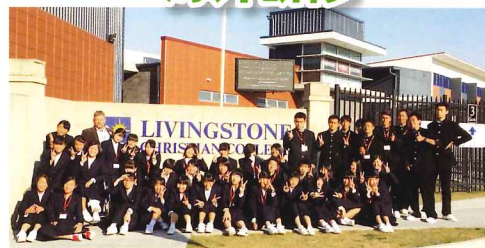
日本と外国の文化・習慣の違いを理解し、受け入れることができる国際人を育てるため、外国語によるコミュニケーション能力を育成を目指します。より実践的な力を育成するために、9泊10日のオーストラリア研修、JICA等外部講師による講話、韓国ソニルeビジネス高校との連携をしています。また、「簿記」や「情報処理」に加え、国際ビジネス関連科目の学習を通して、国際的なビジネスシーンで活躍するための基礎・基本を身に着けます。

外部講師による授業の他、企業見学や大学見学を通じてグローバル社会に通用する人材を育成します。

### 国際コミュニケーション科

国際感覚を伴ったビジネスの力を養うために、「簿記」や「情報処理」の他、国際ビジネス関連科目「ビジネス経済応用」を学習します。また、2年生ではグローバルな感覚に立ったコミュニケーション能力向上も目指し、ホームステイ中心のオーストラリア研修を実施しています。高校在学中に1年間留学することも可能です。

## 海外研修



2年生では8月下旬に、オーストラリア・ゴールドコーストで9泊10日の海外研修を実施しています。現地でのホームステイでは、これまで身に付けた英語力とコミュニケーション能力を最大限に活用し、さらにその力を伸ばすことのできる貴重な機会となっています。

## 卒業生の声

国際コミュニケーション科  
阪和興業株式会社(商社)  
宮部 莉那



会でした。大学では短期留学等の経験をして、現在は、東京で食品の輸出入・三國間貿易に携わる商社で仕事をしております。現地との連絡は英語だけでなく簿記の知識も必要であり、県校商で学んだことが最大限に発揮できています。高校3年間で、いろいろなことに挑戦できる環境があったからこそ、上京を決め、東京で就職するという決断もできたと思います。資格や検定で学んだことは、高校を卒業して6年経った今でも、活かしています。独学では難しい資格・検定も、授業の延長線で取得できるので、ぜひいろんな資格・検定に挑戦してみてください。

高校生活を振り返ると、部活動や学校行事、資格取得や生徒会など、さまざまなことに挑戦した3年間でした。TOEICや英検に向けた授業のみならず、ALTの先生が身近にいるなど英語を話す環境があり、とても貴重な機